| 科目名 | 音楽科指導法 | | | 科目コード | 5018 |
|------|--------|-----|---|-------|------|
| 開講学科 | 教職課程 | 単位数 | 4 | 形態 | 講義 |
| 教員名 | 小牟田 啓 | | | | |

授業の目的及びテーマ

テーマ: 学習指導要領の原理に基づき、授業内容とその構成、指導と評価の基礎を踏まえ、学習指導案の作成について学ぶと共に、授業構成力を習得し、実践力の基本を身につける。

到達目標:学習指導要領(音楽)の主要ポイント及び学習指導案の書式を理解すると共に、表現、鑑賞領域の全ての授業構成のための基礎・基本を理解している。

授業概要

■授業内容とその構成(評価方法含む)については、グループワークを基本とした協働的学習活動とし、「主体的・対話的で深い学び」による「何ができるようになるか」を追求する。■ A 表現・歌唱の共通教材(7曲)は、ピアノ伴奏、範唱及び、A 表現・器楽 A・リコーダーでの模範演奏技能の習得 ■模擬授業は「授業構想チェックシート」を活用した学習指導案の作成を中心に、「授業観察シート」による協働的学びで進める。

授業計画

授業計画 通信:第1回~第15回 ※筆記試験・有

面接:第 16 回~第 30 回

第 1 回:これからの中等科音楽教育

第 2 回:音楽の目標(中学校音楽科の目標/各学年の目標、 高等学校音楽科の目標/芸術家の目標)

第 3 回:指導内容(中学校音楽科の領域・配慮事項)

第 4 回:指導内容(A表現/歌唱、器楽、創作)

第 5 回:指導内容(B鑑賞)

第 6 回:学習指導計画(学習のポイント・概論)

第 7 回:学習指導計画(年間指導計画の作成)

第8回:学習指導計画(題材の構成)

第 9 回:学習指導計画(学習指導案の作成)

第10回:評価(学習のポイント及び内容)

第11回:評価(評価の観点と方法)

第12回:実践準備 歌唱の学習と指導

第13回:実践準備 器楽の学習と指導

第14回:実践準備 創作の学習と指導

第 15 回:実践準備 鑑賞の学習と指導、表現との関連性

第 16 回:学校教育における音楽科の「意義」と学習指導要

領の趣旨

第 17 回:音楽科で育む「学力」と三つの資質・能力の柱

第 18 回:学習指導計画の「指導事項」を踏まえた「題材設

定」の理解

第19回:学習指導計画の「共通事項」の扱い方と「知覚・

感受」及び「見方・考え方」

第 20 回:現行学習指導要領の学習評価から新学習指導要領

に対応した学習評価への理解

第 21 回:「授業構想チェックシート」を活用した協働的学習・授業の構成【A 表現・歌唱 / 共通教材 /A(1) のア】

第 22 回:「授業構想チェックシート」を活用した協働的学習・授業の構成【A 表現・器楽 /A・リコーダーとアンサンブル /A(2) のア、イ】

第23回:「授業構想チェックシート」を活用した協働的学習・授業の構成【A表現・器楽/日本の音色と和楽器/A(2)のイ、ウ】

第24回:「授業構想チェックシート」を活用した協働的学習・模擬授業の構成【A表現・創作/言葉と旋律、モチーフを題材にした創作活動/A(3)のイ】(教材を活用した展開)

第25回:「授業構想チェックシート」を活用した協働的学習・模擬授業の構成 (情報機器を活用した展開) 【B鑑賞/日本の伝統文化/Bア、イ/言語活動とワークシートの工夫/Bア】

第26回: 学習指導案の意義と様式理解及び指導案作成1 【題材設定による構成の理解と題材指導計画の演習】

第 27 回: 学習指導案の意義と様式理解及び指導案作成 2【観点別学習評価の理解と演習 (現行学習指導要領の 4 観点)】

第28回:模擬授業とグループ研究による「主体的・対話 的で深い学び」【授業者・生徒役による「授業観察シート」による工夫・改善】(A表現・歌唱授 業者)

第 29 回:模擬授業とグループ研究による「主体的・対話的で深い学び」【授業者・生徒役による「授業観察シート」による工夫・改善】(A表現・器楽授業者)

テキスト

「最新 中等科音楽教育法」 中等科音楽教育研究会編 (音楽之友社) 中学校学習指導要領解説 音楽編 (文部科学省)

参考文献

「中学生の音楽1・2・3上、下」、「中学生の器楽」 (教育芸術社)

「中学音楽 音楽のおくりもの 1・2・3 上、下」 (教育出版)

評価方法:

課題提出4課題及び筆記試験面接:構想・授業観察シート、指導案、模擬授業、レポート